

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	LEFONKids天満宙組			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日 ～ 2025年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日 ～ 2025年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来の自立に向けた【社会に参画するためのマナーやルール】の習得を目指している	・公共交通機関の利用の練習（集団・個別） ・外食レクなどを通して、小さなことではあるが自己決定し、お金を使用すること ・公共施設でのふるまい方 ・性教育やSNSについての学習	・性教育やSNS学習 ・公共交通機関の使用
2	保護者様に寄り添った支援の立案	・保護者様の困りごとや成長を感じられたことの共有が細かく出来ている ・リトムを書く時に偏った職員ばかりにならないようにしている ・電話やフィードバックの時間の確保	・保護者交流会の実施 ・ペアレントトーニングでの保護者支援
3	職員間のコミュニケーションの多さ	・お子様の情報共有や支援方法についての会話を増やすことと、お子様の成長を喜ぶこと ・職員全員が出勤する日をつくり、研修や情報交換を行っていること ・ありがとうございますの声掛けを忘れないこと	・自己研鑽を行なうことで事業所のレベルアップにつながる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時の連絡手段の方法の共有	・普段のやり取りが電話とラインで行っているため、それ以外の連絡手段がとれないこと	・災害時にどういった方法で連絡をとるのか明確にし、保護者様との共通理解を図ること
2	保護者交流の場を設けること	・実施日が限定されているため、日程調整が難しいこと	・複数日の日程での案内や、開催頻度を多くするなど
3	異年齢が関わるため不要な知識の吸収	・小学生などの会話を耳にするため、意味も理解せず言葉を使用することがある	・年齢に応じて集団での学習の場をつくり、なぜ言葉遣いを正しくしないといけないのかを説明し、理解させること。小学生においては不適切な言葉遣いをしないことの理解。未就学児においては言葉の意味を理解して使用することの理解。